AUTOPERS

アーキトレンドZERO・Z対応
3DSデータ作成マニュアル

2015年12月8日改定版

このマニュアルは
福井コンピュータアーキテクト株式会社の3D建築CADシステム

- ARCHITREND ZERO
- ARCHITRENDZシリーズ (ver.7.0以降)

に対応しています。





FINE Co.,Ltd.
contents service provider

アーキトレンドZERO・Z対応
3DSデータ作成マニュアル
目次

1 データ作成からAUTOPERSへの流れ ____ 3

2 AUTOPERSに最適な3Dモデルデータについて ____ 4

3 3DS形式ファイルの書き出し（通常） ____ 5

4 3DS形式ファイルの書き出し（パーススタジオ） ____ 9

5 よくある質問と回答 ____ 10

※マニュアル内のアーキトレンド操作画面は、全てARCHITREND ZEROを使用しています。

1 データ作成からAUTOPERSへの流れ

アーキトレンドZERO・ZからAUTOPERSの機能を使用する手順です。

アーキトレンドZERO・ZからAUTOPERSへの流れ

アーキトレンドZERO・Zの操作

建物を作成

作図

3次元（3D）モデル作成

表示項目の設定・削除

建物を3DS形式ファイルで書き出し

アーキトレンドの機能で、AUTOPERSに読み込む3次元モデルの作成や部材の色分けを行います。

AUTOPERSに不要な部分を書き出さない設定を行います。
ファイルのサイズが小さくなり、後の操作が軽快になります。

ARCHITREND ZERO

ARCHITREND Z

3DS

3DS形式ファイル

AUTOPERSの操作

3DS形式ファイルの読み込み
パース生成に必要な割りあて設定

アップロード・自動パース生成
割りあて設定を元にパースを自動生成

部位割あてツール

シミュレーション・パース調整
シミュレーション画面にてパースを調整

印刷・画像出力
印刷画面にてパースを出力

シミュレーション画面

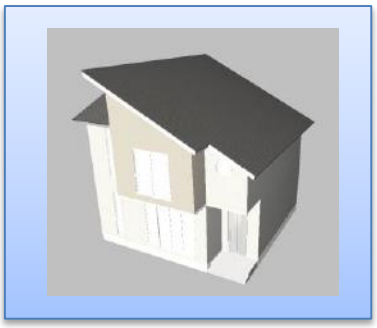
AUTOPERS

2 AUTOPERSに最適な3Dモデルデータについて

1 AUTOPERSでは下記の状態の3次元(3D)モデルデータの使用を推奨しています。

内部・外構・敷地を外した状態 推奨

AUTOPERSの読み込みに最も適した状態です。パースに不要な部品が含まれずファイルサイズも小さいため、軽快に操作を行えます。また、外構や敷地を含まないことでAUTOPERSのエクステリアを使用できます。





内部の部品が残った状態

パースの見た目に影響することは少ないですが、ファイルサイズが大きくなるため、AUTOPERS上での動作遅延の原因となります。また、ファイルサイズが大きすぎると、読み込みができない場合があります。





外構・敷地が残った状態

ファイルサイズが大きくなるため、AUTOPERS上での動作遅延の原因となります。 外構の樹木などは、正しく表示されない場合があるので推奨しておりません。また、 読み込んだ外構・敷地の手前にAUTOPERSのエクステリアが表示されるため、
使用することができません。

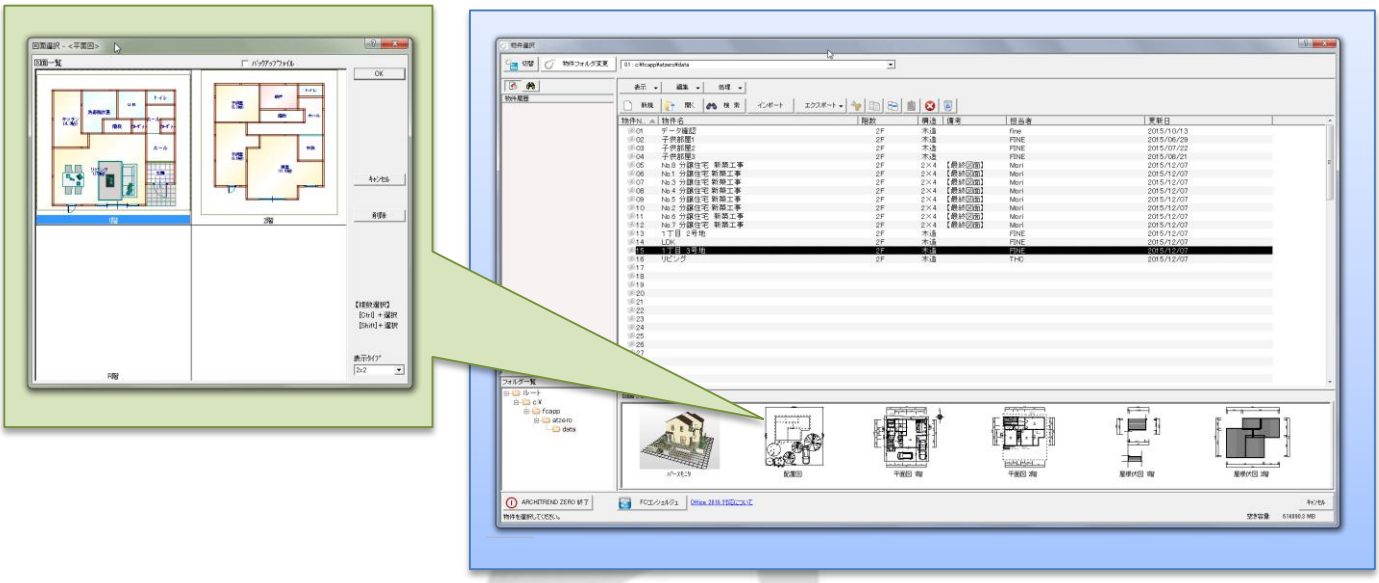




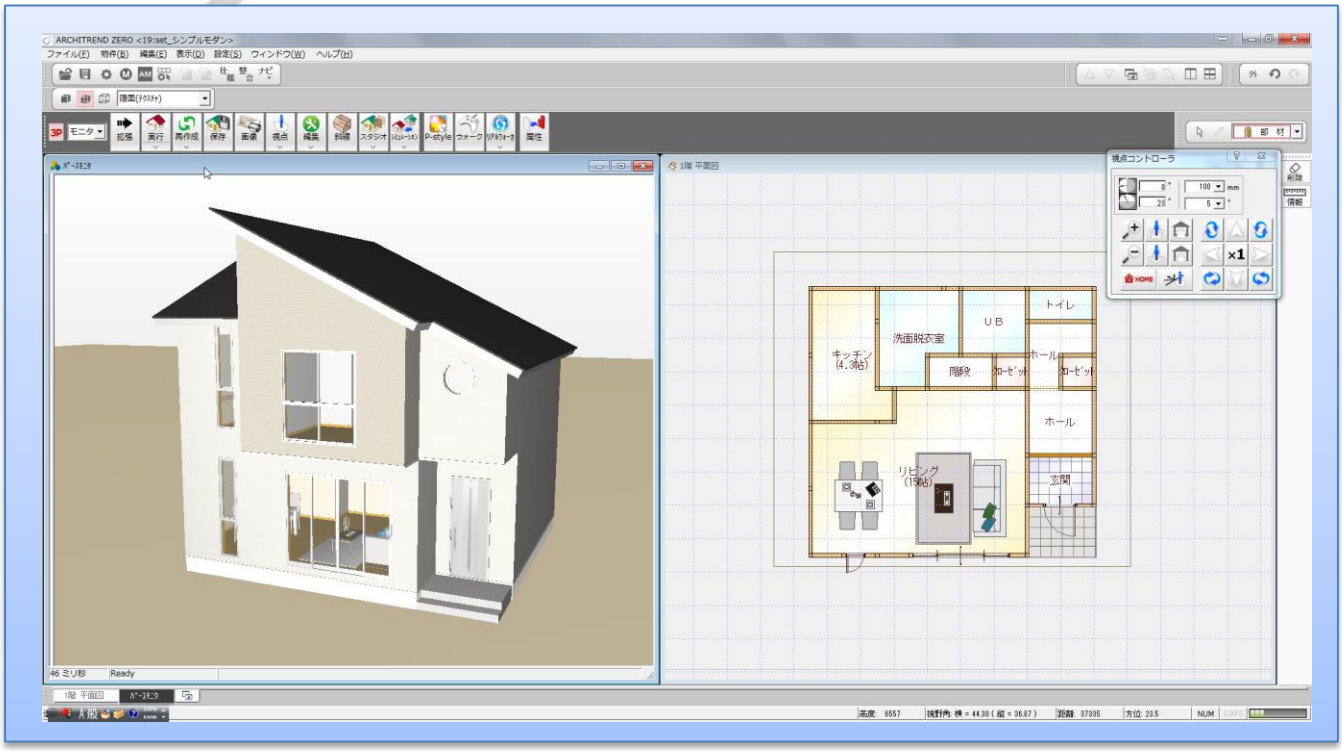
3 3DS形式ファイルの書き出し手順（通常）

アーキトレンドZERO・Zで製作したデータを3DS形式ファイルに書き出します。

1 アーキトレンドを起動後、図面を作成します。または任意の物件を選択し図面を開きます。



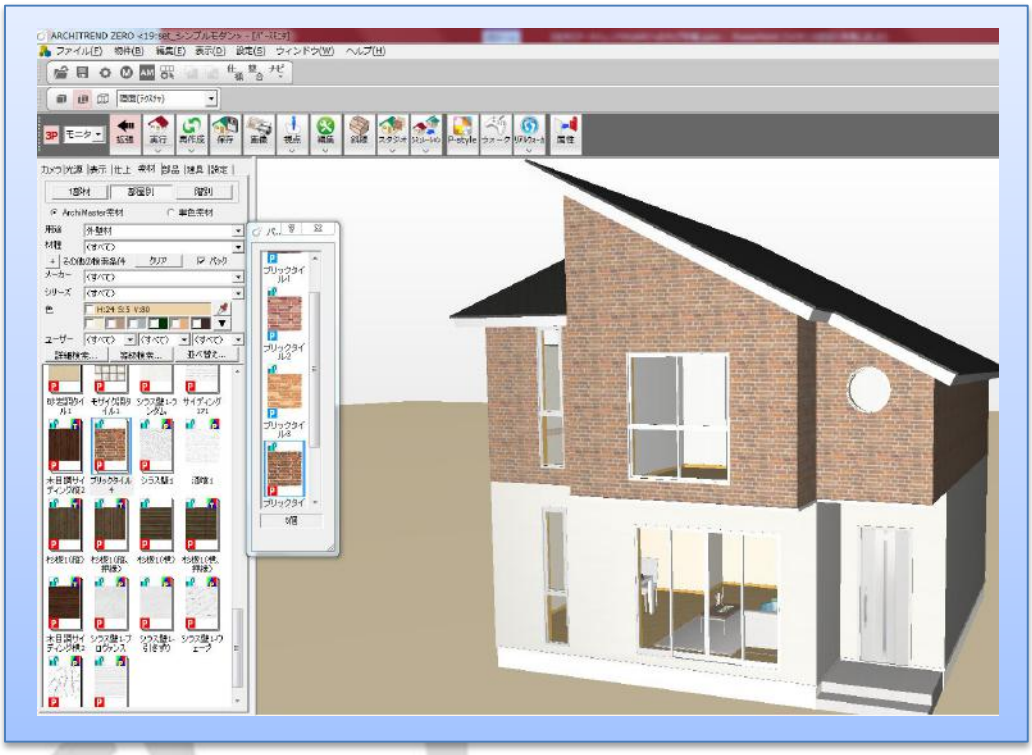
2 図面から3Dモデルを作成します。既に3Dモデルがある場合は3D画面を表示させます。



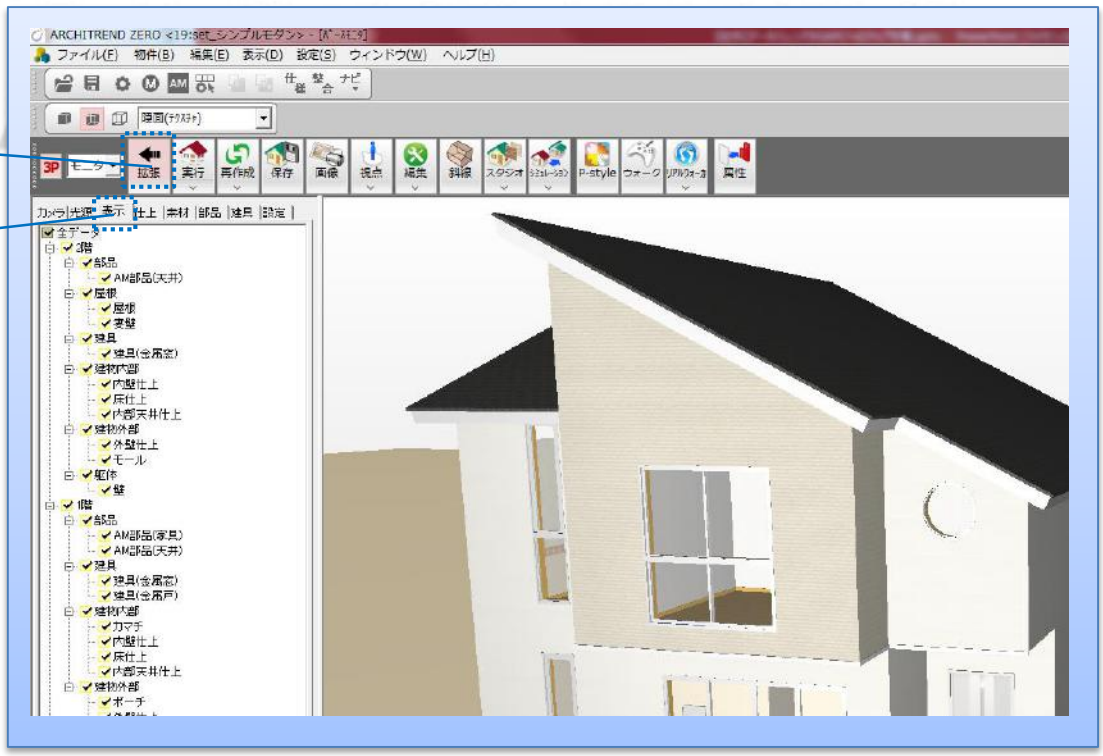
3 3DS形式ファイルの書き出し手順（通常）

アーキトレンドZERO・Zで製作したデータを3DS形式ファイルに書き出します。

3 AUTOPERSに読み込む形状や部材の貼り分けに変更がある場合は、この時点で修正を行います。
問題なければ次の項目に進んでください。



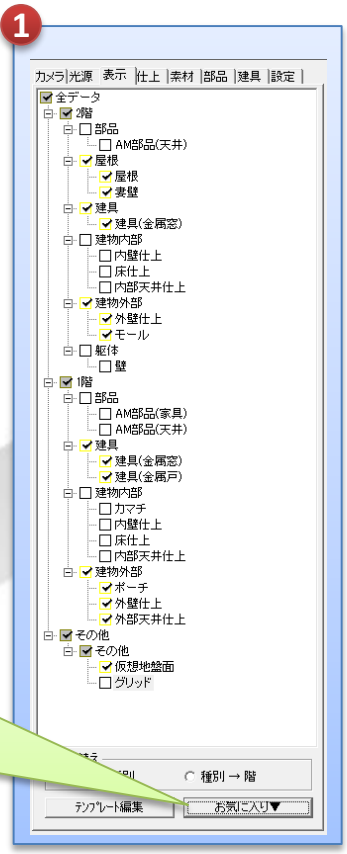
4 3D表示画面の❶[拡張]コマンドから❷[表示]の項目を選択します。



3 3DS形式ファイルの書き出し手順（通常）

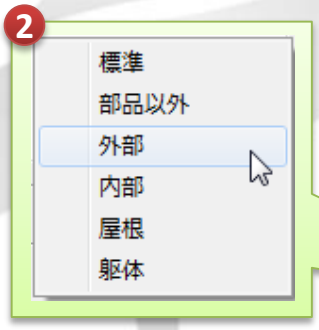
アーキトレンドZERO・Zで製作したデータを3DS形式ファイルに書き出します。

5 AUTOPERSの読み込みに不要な項目のチェックを外していきます。



1 チェックを外した項目に該当する部分が3D画面で非表示になり、
3DS形式ファイルの書き出しに含まれなくなります。
建物の外観に影響が無いか確認しながら、作業を行ってください。

2 [お気に入り]から外部を選択すると、建物内部に該当する項目の
チェックを一度に外すことができます。



不要な部分を書き出さないメリット

データのファイルサイズが小さくなり、AUTOPERSの読み込み時の不具合等が起こりにくくなります。
また、シミュレーション画面での操作などが軽快に行えるようになります。

非表示前



非表示になった状態

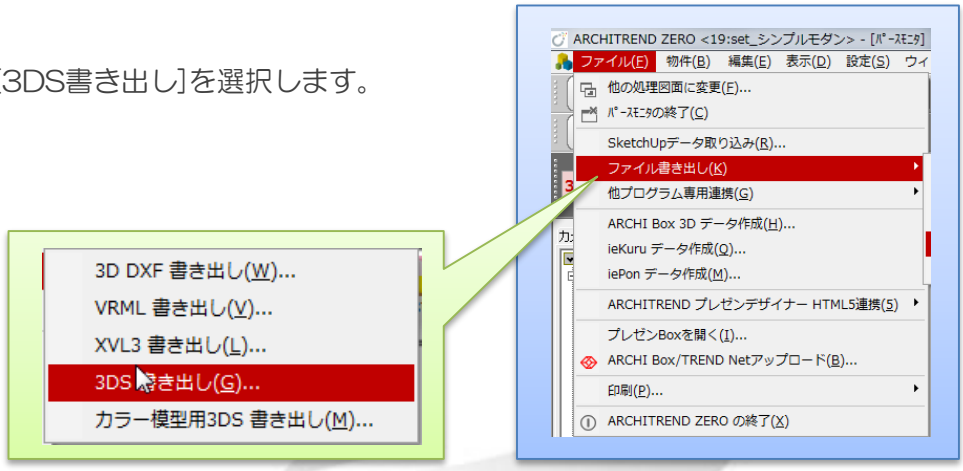


3 3DS形式ファイルの書き出し手順（通常）

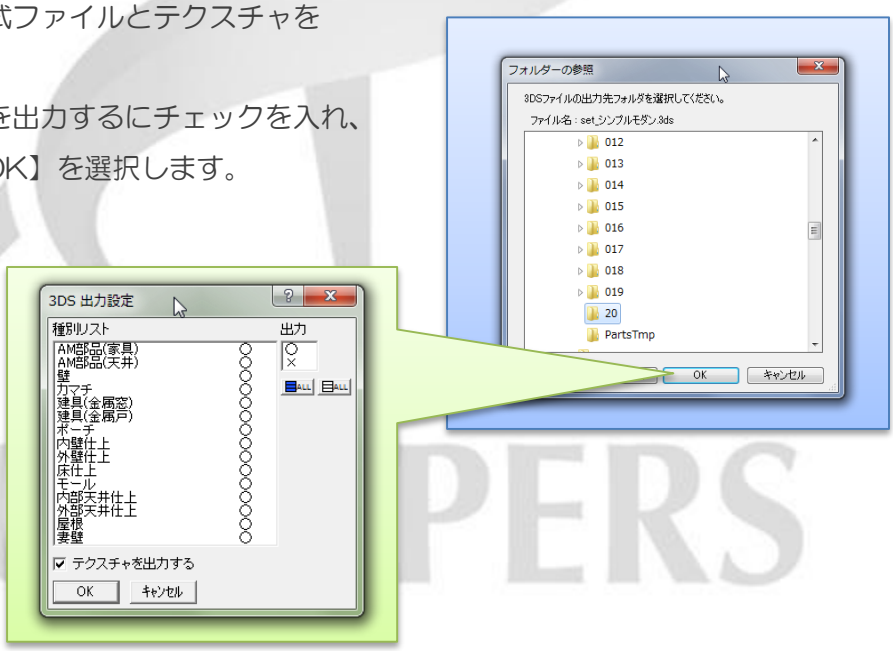
アーキトレンドZERO・Zで製作したデータを3DS形式ファイルに書き出します。

6 問題が無ければ、表示されている3Dモデルデータを3DS形式ファイルへ書き出します。

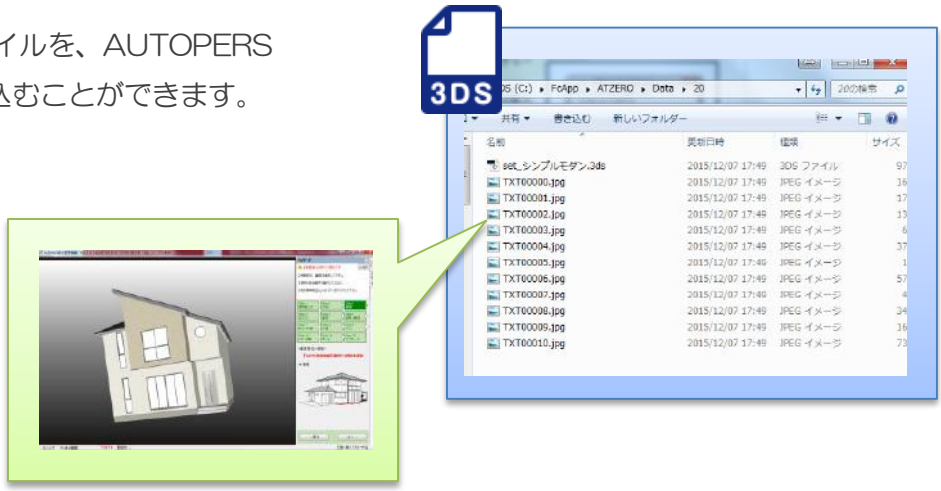
1 [ファイル書き出し]から[3DS書き出し]を選択します。



2 [フォルダの参照]から3DS形式ファイルとテクスチャを保存する場所を指定します。
[3DS出力設定]はテクスチャを出力するにチェックを入れ、他の設定項目はそのままで【OK】を選択します。



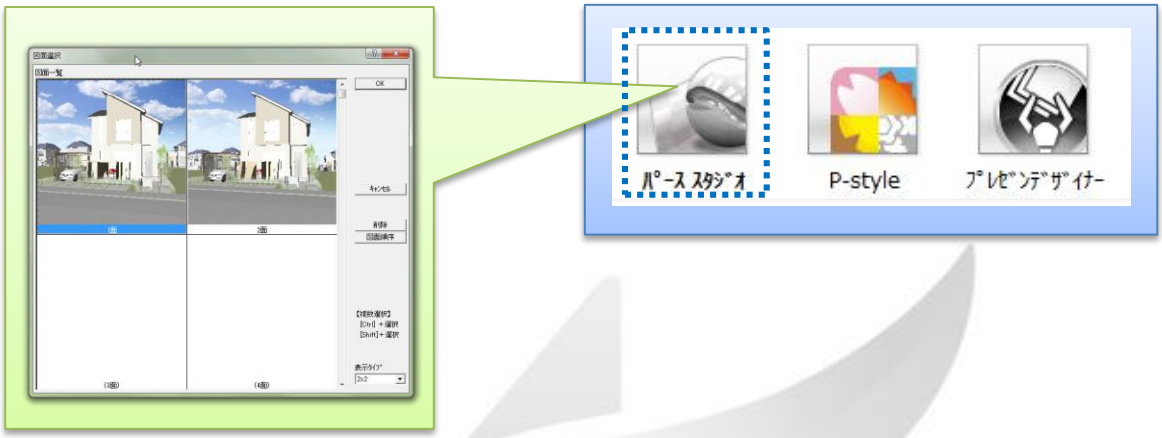
3 書き出された3DS形式ファイルを、AUTOPERS部位割りあてツールで読み込むことができます。



4 3DS形式ファイルの書き出し手順（パーススタジオ）

パーススタジオからも3DS形式ファイルを書き出すことができます。
※パーススタジオは[パーススタジオオプション]を購入した方が使える機能です。

3DS形式ファイルの書き出しは、パーススタジオで編集を行ったデータでも行えます。
不要な項目をチェックを外して非表示にする操作も同様です。

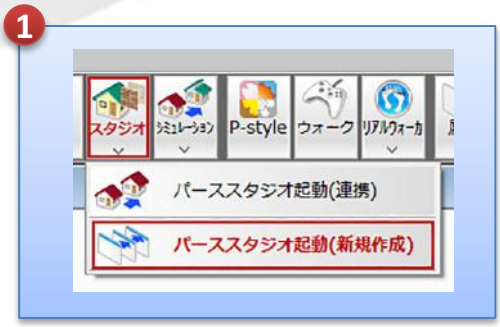


下記の手順を行うことで、
建物内部の部分を取り除く事もできます。

1 **【パーススタジオ起動（新規作成）】**

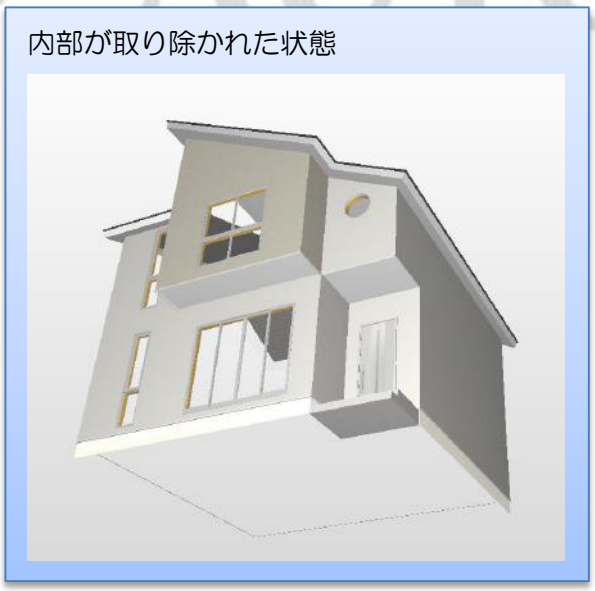
2 **【外観パース】**

3 **【外部のみ】**







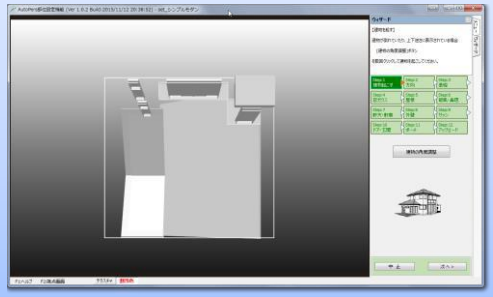


5 よくある質問と回答

Q 3DS形式ファイルを部位割りあてツールで読み込むと、建物がひっくり返って表示されてしまいます。

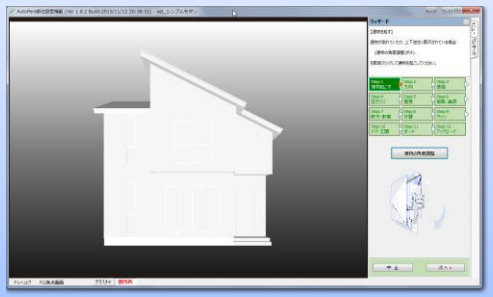
A アーキトレンドだけでなく、お使いのCADの座標位置により、読み込んだ建物が回転する場合があります。部位割りあてツールの[建物の角度調整]を数回クリックすることで、建物の天地を元に戻すことが可能です。

読み込んだ状態





建物の角度調整後



Q 部位割りあてツールで読み込んだ建物に設定したテクスチャが表示されません。

A1 3DS形式ファイルとテクスチャファイルの格納フォルダが異なる場合がございます。
両方のファイルを同一フォルダに配置してから読み込みをしてください。

A2 読み込まれたデータの初期表示は[割当色]になっています。画面下部から表示色を[テクスチャ]に変更し、テクスチャーが表示されているかご確認ください。

テクスチャ表示







表示の
切り替え

割当色表示



5 よくある質問と回答

Q 外構部分がついた3DS形式ファイルを書き出しても、AUTOPERSで使用できますか？

A 読み込みは可能ですが、敷地・外構が含まれているモデルデータは処理が遅くなりますので、建物部分のみの読み込みを推奨しております。また、3DS形式ファイルの外構の樹木などは、シミュレーション画面で正しく表示されない場合があります。

Q アーキトレンドのテクスチャをAUTOPERSで使用できますか？

A 読み込んだ3DS形式ファイルに設定されているテクスチャの表示のみ可能です。
また、シミュレーション画面で一度別の色やテクスチャに変更すると、再度戻すことができません。元の状態を残しておきたい場合は、パース保存やキープ機能などをお使いください。

※パース保存・キープ機能についてはAUTOPERSユーザーマニュアルのシミュレーション画面の項目をご覧ください。

Q 内観パースや鳥観パースを製作することはできますか？

A AUTOPERSでは現在、内観パース・鳥観パースには対応していません。

AUTOPERS

AUTOPERS

FINE Co.,Ltd.
contents service provider

■大阪本社
〒550-0004
大阪市西区靭本町1-4-2 プライム本町ビルディング3F
TEL:06-6448-0013 FAX:06-6448-0134

■東京オフィス
〒160-0022
東京都新宿区新宿1-9-1 NEOX新宿ビル8F
TEL:03-6457-8572 FAX:03-6457-8576

[ARCHITREND ZERO] 及び [ARCHITREND Z] は、福井コンピューターアーキテクトの登録商品です。